



「第二期青森県がん対策推進計画」(平成25年3月策定)の概要

資料1

＜計画期間：平成25年度～平成29年度＞

全体目標(平成19年度からの10年目標)

- がんによる死亡率の減少(75歳未満の年齢調整死亡率の20%減少) 目標 82.6人(人口10万対)
- すべてのがん患者とその家族の苦痛の軽減並びに療養生活の質の維持向上
- (新)がんになっても安心して暮らせる社会の構築

重点的に取り組むべき課題

生活習慣の改善	がん検診受診率及び精密検査受診率向上による早期発見と早期治療	がん医療の充実	情報提供と相談支援機能の充実	(新)小児がん、働く世代への支援
がん登録の充実と研究の推進			(新)がんの教育・普及啓発	

分野別施策と取組の方向性

<p>1 生活習慣の改善と感染に起因するがんの予防 健康あおもり21(第2次)に基づく健康づくりの推進と肝炎ウイルス検査等の普及啓発</p>	<p>4 情報提供と相談支援機能の充実 情報提供、患者や家族の立場に立った相談支援対策の充実等</p>
<p>2 がん検診受診率等の向上とがん検診の精度管理及び質の確保 検診に関する県民の理解促進と計画的かつ効率的な受診勧奨の推進、科学的根拠に基づくがん検診の推進</p>	<p>5 がんの教育・普及啓発 健康教養(ヘルスリテラシー)の向上</p>
<p>3 がん医療の充実 ①手術療法、放射線療法及び化学療法を単独で行う治療や集学的治療の実施可能な体制整備 ②放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とこれらを専門的に行う医療従事者の育成 ③がんと診断された時からの緩和ケアの推進 ④地域連携、支援を通じたがん診療水準の向上</p>	<p>6 がん登録の充実と研究の推進 がん登録の促進と質の確保、がんに関する研究・分析</p>
	<p>7 小児がん 小児がんに関する情報提供、小児がん診療機関間の連携</p>
	<p>8 働く世代への支援 事業主等に対するがんの正しい知識の普及</p>



分野別施策ごとの個別目標値

がんの一次予防

- ◇ 成人喫煙率 男性23%以下, 女性5%以下 (H34年度)
- ◇ 未成年者喫煙率 0% (H34年度)
- ◇ 妊婦喫煙率 0% (H26年度)
- ◇ 施設内禁煙を実施している施設の割合 100% (H34年度)
- ◇ 野菜摂取量の平均値 (20歳以上) 350グラム (H34年度)
- ◇ 果物摂取量100グラム未満の者の割合 28% (H34年度)
- ◇ 生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者 (一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g以上、女性20g以上の者) の割合 男性 26.7%、女性 14.4%

がんの一次予防

- ◇ がん検診受診率 50%以上 (H29年)
- ◇ 精密検査受診率 90%以上 (H29年度)
- ◇ 精度管理・事業評価実施市町村割合 100% (H29年度)
- ◇ 科学的根拠に基づくがん検診実施市町村割合100% (H29年度)

がん医療の充実

- ◇ がん診療連携拠点病院充足率 100% (H29年度)
- ◇ チーム医療の体制整備 全ての拠点病院 (H27年度)
- ◇ がん関係認定看護師数 増加
- ◇ 拠点病院でがん診療に携わる医師の緩和ケア研修修了割合 100%
- ◇ 緩和ケア実施病院数 (拠点病院以外) 増加
- ◇ 緩和ケア実施訪問看護ステーション数 増加
- ◇ がん患者の在宅等死亡割合 増加

がん登録の充実

- ◇ 院内がん登録実施医療機関数 増加
- ◇ がん登録によるDCO率 10パーセント未満 (H29年度)



数値目標と達成のための施策

課題	課題解決にあたっての数値目標			目的達成のための施策 ()内は担い手
	目標項目	現状値	目標値	
がんの予防	成人喫煙率の減少 (喫煙をやめたい者がやめる)	男性 36.1%、女性 7.9% (平成22年度)青森県県民健康栄養調査	男性23%以下 女性5%以下 (平成34年度)	・健康おもしろ21(第2次)に基づく施策の推進(県、県以外) ・子宮頸がん予防(HPV)ワクチンや肝炎ウイルス検査に係る普及啓発(県、市町村、医療機関等)
	未成年の喫煙率	中学1年生 男性 0.4%、女性 0.2% 高校3年生 男性 1.1%、女性 2.7% (平成23年度)青森県未成年者喫煙飲酒状況調査	0% (平成34年度)	
	妊婦の喫煙率	6.5% (平成22年度)青森県妊婦連絡票	0% (平成26年度)	
	受動喫煙防止対策(施設内禁煙)を実施している施設の割合	県庁舎 50.9% 市町村庁舎 45.0% 文化施設 78.1% 教育・保育施設 92.0% 医療機関 73.3% 事業所(50人以上)17.6% 事業所(50人未満)27.5% (平成23年度)青森県受動喫煙防止対策実施状況調査	100% (平成34年度)	
	野菜と果物の摂取量の増加	①野菜摂取量の平均値(20歳以上) 265g [※] ②果物摂取量100g [※] 未満の者の割合 58.5% (平成22年度)青森県県民健康栄養調査	①350グラム ②28% (平成34年度)	
	生活習慣病のリスクを高める量を飲酒している者 (一日当たりの純アルコール摂取量が男性40g [※] 以上、女性20g [※] 以上の者)の割合の減少	男性 31.4%、女性 16.9% (平成22年度)市町村国保特定健診データ	男性26.7% 女性14.4% (平成34年度)	
がんの早期発見	検診受診率 (国民生活基礎調査) ○胃、大腸、肺がんは、各検診を過去1年以内に受けた者の数/調査対象者数(40歳～69歳) ○乳がんは、乳がん検診を過去2年以内に受けた者の数/調査対象者数(40歳～69歳) ○子宮がんは、子宮がん検診を過去2年以内に受けた者の数/調査対象者数(20歳～69歳)	胃がん(男)37.7%、(女) 33.0% 大腸がん(男) 31.1%、(女) 29.0% 肺がん(男) 31.1%、(女) 29.3% 乳がん 39.3% 子宮がん 38.9% (平成22年国民生活基礎調査) *胃、大腸、肺、乳は40～69歳の受診率、子宮は20～69歳の受診率	50%以上 (平成29年)	・がん検診についての正しい情報の発信(県、市町村、検診機関、関係機関・団体等) ・受診者に対する分かりやすい説明(検診機関) ・利便性を考慮した受診機会の提供、検診対象者の把握、効果的効率的な受診勧奨の実施(市町村) ・効果的な受診勧奨取組事例の紹介や市町村がん検診事業担当者等の情報交換の場の提供(県) ・適正年齢、適正間隔でのがん検診の受診と要精検となった場合の精密検査の受診(県民)
	市町村がん精密検査受診率 (地域保健・健康増進事業報告)	胃がん 77.8%、大腸がん 73.5%、肺がん 82.3%、子宮がん 79.7%、乳がん 84.2% (平成22年度地域保健・健康増進事業報告)	90%以上 (平成29年度)	
	精度管理・事業評価実施割合 (「事業評価のための市町村チェックリスト」の項目を8割以上実施しているとした市町村の割合)	胃がん 23.3%、大腸がん 23.3%、肺がん 23.3%、子宮がん 23.3%、乳がん 16.7% (平成22年事業評価のためのチェックリスト回答状況)	100% (平成29年度)	
	科学的根拠に基づく検診実施割合	100% (平成24年度)	100% (平成29年度)	



課題	課題解決にあたっての数値目標			目的達成のための施策 (＜)内は担い手)
	目標項目	現状値	目標値	
手術療法、放射線療法、化学療養を単独で行う治療や集学的治療の実施可能な体制整備	がん診療連携拠点病院充足率 (＜拠点病院の整備された二次医療圏の割合)	83.3%(5/6圏域) (平成24年度)	100% (平成29年度)	・各職種の専門性を活かしたチーム医療の推進(がん診療連携拠点病院等) ・医科歯科連携による口腔ケアの推進、食事療法などによる栄養管理やリハビリテーションの推進等の職種間連携の推進(がん診療連携拠点病院等)
	拠点病院におけるチーム医療の体制整備	*国における「チーム医療体制」の内容が明らかになった時点で調査	全ての拠点病院 (平成27年度)	
放射線療法、化学療法、手術療法の更なる充実とこれを専門的に行う医療従事者の育成	がん関係認定看護師数 (拠点病院におけるがんに関する専門知識を有する看護師数)	18人 (平成23年度拠点病院現況報告)	増加 (平成29年度)	・研修会、カンファレンス等を通じたがん医療従事者の育成と支援(がん診療連携拠点病院等) ・がん医療従事者の養成とがん医療に従事している医療技術者の専門性の向上(医療技術者養成機関)
がんと診断された時からの緩和ケアの推進	拠点病院でがん診療に携わる医師の緩和ケア研修修了割合	①緩和ケア研修受講医師数 218人 (平成23年厚生労働省まとめ) ②拠点病院常勤医師数 700人 (平成23年度拠点病院現況報告)	100% (平成29年度)	・青森県がん情報サービス等を活用した緩和ケアの周知(県、県以外) ・がんと診断された時からの患者と家族に対する緩和ケアの実施(医療機関) ・緩和ケアの意義やがんと診断された時からの緩和ケアの必要性に係る普及啓発(県、県以外) ・緩和ケアに関する研修受講等による緩和ケアの理解促進(がん医療従事者)
	緩和ケア実施病院数(拠点病院以外) (拠点病院以外で、緩和ケア病棟又は緩和ケアチームありとした病院数)	9施設 (平成24年2月)	増加 (平成29年度)	
	緩和ケア実施訪問看護ステーション数 (「麻薬を用いた疼痛管理」に対応している訪問看護ステーションの数)	63施設 (平成24年6月現在。青森県介護情報サービス)	増加 (平成29年度)	
地域連携、支援を通じたがん診療水準の向上	がん患者の在宅等死亡割合 (がん患者のうち、自宅・老人ホーム・介護老人保健施設で死亡した者の割合)	7.1% (平成22年人口動態統計)	増加 (平成29年度)	・がん診療連携推進病院の認定等による地域の医療連携体制の充実促進(県、がん診療連携拠点病院等) ・地域連携バスの活用等による連携の推進(医療機関、介護事業者、医療福祉従事者等)
がん登録の充実	院内がん登録実施医療機関数	31施設 (平成23年青森県調べ)	増加 (平成29年度)	・院内がん登録の実施に向けた働きかけ、院内がん登録から地域がん登録への円滑な移行支援(県) ・院内がん登録の実施、地域がん登録への協力(医療機関) ・地域がん登録に基づく本県のがんの実態把握の推進(県、県以外)
	地域がん登録によるDCO率 (上皮内がんを除く)	5.1% (平成21年青森県地域がん登録)	10%未満 (平成29年度)	